

# ぐんぐん

## 伝統行事についてパート1

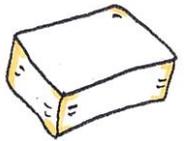
1月のお正月から始まり、2月の節分、3月の桃の節句、春分や秋分と、日本には四季折々に合わせて根づいた伝統行事がたくさんあります。同じ行事でも地域ごとにやり方が少しずつ違っているのは、その土地の風習が受け継がれてきたものだからです。昔から行事のたびに作られてきた料理やお菓子を食べるのも、大きな楽しみの一つ。食を通して伝統行事のよさや大切さをあらためて見直し、子どもたちにつないでいきたいですね。



## 伝統行事についてパート2

2月と言えば節分ですが、「針供養」もあります。今では家庭での針仕事は少なくなりましたが、むかしは暮らしにかかせないものでした。2月8日が針供養の日です。1年間使って、折れ曲がったりした針を豆腐のような柔らかいものに刺して供養し、針仕事を休みます。針供養の行事を行う神社もあり、和裁や洋裁の学校では大切な伝統行事として今でも続いています。地域によっては12月8日に行われるところもあります。ものを大切にしてきた、むかしの暮らしがしのばれる行事です。

—あすなろ書房「和の行事」から抜粋—



## 収穫しました、だいこん！

種を蒔いてから収穫まで90日と記されていたので、12月20日を大根掘りに予定していましたが、大雪となり掘ることができなくなりました。年が明けても雪が降ったり寒くて土が硬かったりでなかなか掘ることができませんでしたが、1月25日、やっと暖かくなったので畑の状態を見て、優しく丁寧に掘り起こしました。まっすぐで太さも揃い、きれいなだいこんが17本収穫できました。1月26日は大根サラダに27日は煮物にして食べました。

## 旬の野菜

### 「カリフラワー」

カリフラワーはキャベツの仲間で、食べる部分は花の芽です。淡色野菜ですが、ビタミンCの含有量が野菜の中でもトップクラスです。似た野菜に、ロマネスコがあります。



## カリフラワーの調理の例として

サラダによく使われる食材ですが、サッと茹でて肉の炒め物に入れたり、筑前煮に入れたりしても合います。パプリカと一緒にピクルスもおすすめてです。

